

会 議 録

会 議 の 名 称	弘前市指定管理者選定等審議会
開 催 年 月 日	令和5年9月20日（水）
開 始 ・ 終 了 時 刻	8時55分 から 11時30分まで
開 催 場 所	弘前市役所 市民防災館3階 防災会議室
議 長 等 の 氏 名	奈良 道明
出 席 者	委員 飯島 裕胤 委員 小林 太郎 委員 番場 邦夫 委員 奈良 道明（会長）
欠 席 者	委員 菊池 励美
施設所管部職員の 職 氏 名	<p>（城西老人福祉センター） （老人福祉センター祥風園） （老人福祉センター瑞風園） 福祉部長 秋元 哲 介護福祉課長 齊藤 隆之 介護福祉課課長補佐 伴 英憲 介護福祉課主幹兼高齢福祉係長 野呂 和範 介護福祉課主査 石田 淳也</p> <p>（弘前市まちなか情報センター） 商工部長 西谷 慎吾 商工労政課長 福士 智広 商工労政課課長補佐 澁谷 卓 商工労政課主幹兼商業振興係長 今 隆洋 商工労政課主査 今 雄大 商工労政課主事 柏木 洋樹</p>

	<p>(弘前市立百石町展示館)</p> <p>観光部長 神 雅昭  文化振興課長 佐藤 孝子  文化振興課課長補佐 鶴巻 秀樹  文化振興課主幹兼文化振興係長 佐藤 由妃  文化振興課総括主査 木村 匡希</p> <p>(瑞樂園)</p> <p>(弘前市公開武家住宅)</p> <p>教育部長 成田 正彦  文化財課長 石岡 博之  文化財課課長補佐 小石川 透  文化財課文化財保護係長 村上 真知子  文化財課総括主査 北野 由美  文化財課主査 清野 優雅</p> <p>(泉野多目的コミュニティ施設)</p> <p>市民生活部長 岩崎 隆  市民協働課長 高谷 由美子  市民協働課課長補佐 齊藤 弘行  市民協働課市民生活係長 対馬 真  市民協働課主査 中畑 まどか  市民協働課主事 齊藤 陽南</p> <p>(駅前地区都市改造記念会館)</p> <p>都市整備部長 小山内 孝紀  都市計画課長 今井 郁夫  都市計画課総括主査 片山 俊博  都市計画課主査 奈良 賢太郎</p>
<p>事務局職員の 職 氏 名</p>	<p>管財課長 工藤 浩  管財課公共施設マネジメント推進室総括主幹 坪田 幸治  管財課公共施設マネジメント推進室総括主査 富田 正史  管財課公共施設マネジメント推進室主査 金野 人史  管財課公共施設マネジメント推進室主査 工藤 早史  管財課公共施設マネジメント推進室主査 工藤 寛明</p>

<p>会 議 の 議 題</p>	<p>案件</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 城西老人福祉センターほか計 10 施設の指定管理者候補者の選定について</li> <li>2. 泉野多目的コミュニティ施設ほか計 2 施設の指定管理者候補者の選定方法、指定期間及び選定基準等について</li> </ol>
<p>会 議 結 果</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 城西老人福祉センターほか計 10 施設の指定管理者候補者の選定について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 城西老人福祉センター 社会福祉法人弘前草右会を城西老人福祉センターの指定管理者候補者に選定する。</li> <li>(2) 老人福祉センター祥風園 社会福祉法人弘前草右会を老人福祉センター祥風園の指定管理者候補者に選定する。</li> <li>(3) 老人福祉センター瑞風園 社会福祉法人弘前豊徳会を老人福祉センター瑞風園の指定管理者候補者に選定する。</li> <li>(4) 弘前市まちなか情報センター 公益社団法人弘前観光コンベンション協会を弘前市まちなか情報センターの指定管理者候補者に選定する。</li> <li>(5) 弘前市立百石町展示館 特定非営利活動法人 h a r a p p a を弘前市立百石町展示館の指定管理者候補者に選定する。</li> <li>(6) 瑞楽園 有限会社三浦造園を瑞楽園の指定管理者候補者に選定する。</li> <li>(7) 弘前市公開武家住宅等 弘前市仲町地区伝統的建造物群保存会を弘前市公開武家住宅等の指定管理者候補者に選定する。</li> </ol> </li> </ol>

	<p>2. 泉野多目的コミュニティ施設ほか計2施設の指定管理者候補者の選定方法、指定期間及び選定基準等について</p> <p>(1) 泉野多目的コミュニティ施設  泉野多目的コミュニティ施設の指定管理者候補者の選定方法、指定期間及び選定基準等については、妥当である。</p> <p>(2) 駅前地区都市改造記念会館  駅前地区都市改造記念会館の指定管理者候補者の選定方法、指定期間及び選定基準等については、妥当である。</p>
<p>会議資料の名称</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 案件対象施設及び指定管理者候補者選定結果一覧表等（資料1）</li> <li>・ 指定管理者選定等審議会小委員会委員評価結果一覧及び各委員評価（資料2：参考資料）</li> <li>・ 案件対象施設及び指定管理者候補者選定方法一覧（資料3）</li> <li>・ 指定管理者制度に係る今後のスケジュール（資料4）</li> </ul>

<p>会 議 内 容</p>	<p><b>【以下、質疑等の概要】</b></p> <p><b>(議長)</b> 全体の概要について、事務局の説明を求める。</p> <p><b>(事務局)</b> 本日は、はじめに資料1の一覧に記載のとおり、城西老人福祉センターほか計10施設の指定管理者候補者の選定についてご審議いただく。</p> <p>審議する施設については、施設所管課において募集の受付を行い、受付終了後、施設を所管する各部に小委員会を設置し、総合評価方式による評価を行った。</p> <p>総合評価方式は、あらかじめ設定した評価項目に沿って小委員会の各委員が評価を行い、評価点が最も高い申請者を選定案とするもので、100点満点換算で60点を最低基準としており、基準に満たない場合は候補者として選定しないものとしている。</p> <p>続いて、これから指定管理者候補者の募集を行うに当たり、選定方法等についてご審議いただく。資料3の一覧に記載のとおり、審議対象は泉野多目的コミュニティ施設ほか計2施設となっており、選定方法はすべて非公募としている。</p> <p><b>1. 城西老人福祉センターほか計10施設の指定管理者候補者の選定について</b></p> <p><b>■城西老人福祉センター</b></p> <p><b>(議長)</b> 城西老人福祉センターほか計10施設の指定管理者候補者の選定について、審議を行う。</p> <p>会議の進め方は、資料1により募集グループごとに担当部からの説明及び質疑を行い、審議することとする。</p> <p>それでは、福祉部から城西老人福祉センターの選定案について説明をお願いする。</p> <p>＜施設所管部 説明＞</p> <p><b>(議長)</b> 以上の説明について、質問や意見はないか。</p> <p><b>(委員)</b> 申請書類において挙げられている課題について、市はどのよ</p>
----------------	---

うに考えているか。

**(施設所管課)**

経年劣化による建物設備の維持対策については、数年前から雨漏り等について要望があげられていたが、昨年、緊急的な対策を実施した。屋根の腐食や外壁のひび割れは対応できていないが、建築基準法に基づく点検を実施しており、その専門的な判断を踏まえて優先度を決めて対応していく。

駐車スペースの不足については住宅街の中にあるということもあり、今のところ増やすことはできない状態である。

ほかは新型コロナウイルスの関係であるが、利用者が以前のように回復していないなかで、指定事業や自主事業などを工夫して以前のように利用者を増やしていきたいと、小委員会のヒアリングの際に申請者である社会福祉法人弘前草右会から聞いている。

**(委員)**

人材確保及び離職防止への取り組みに関する課題が気になった。これは指定管理者自身の課題ではあるが、市としてはどのように考えているのか、特に離職防止について、どのくらい必要な状況と捉えているか。

**(施設所管課)**

城西老人福祉センターについては、この5年間で職員が辞めたことはなく、ずっと同じ職員が勤務してきているので、人材確保に困っているという話は聞いていないことから、法人全体での課題を記載されているのだと考える。

**(委員)**

職員の定着については全く問題ないということでしょうか。

**(施設所管課)**

はい。

**(委員)**

では、逆に市が課題と捉えていて、指定管理者に対応してほしいことは何か。

**(施設所管課)**

他の老人福祉センターと比べて、高齢者の相談対応や高齢者が集まって生きがいを感じられるような活動を行うという、老人福祉センター本来の役割を最も果たしている施設だと認識している。そのため、利用者が以前のように回復して様々なサークル活動を行える状況になれば、城西老人福祉センターについては特に問題ないと考えている。

**(委員)**

ぜひ他のセンターに良い取り組みが広がっていくよう努めていただきたい。

**(委員)**

予算内訳比較表を見ると、人件費の予算が市では808万2千円、弘前草右会は777万7千円となっている。選定方法の審議の際、市の予算額が実績よりも300万円くらい低いという話があり、本部と兼任している施設長の人件費を按分できずすべて載せているため、という説明があったが、今回の予算上はこの分を除いて、実務的にはまた同じ形で整理していくのか。

**(施設所管課)**

そのとおり。

**(委員)**

さきほどの議論でもあったとおり、申請書類で人材確保及び離職防止への取り組みとして職員の処遇改善にも触れておきながら、この予算内訳比較表では市の人件費よりも低くなっている。この点は申請者がどのように考えているか確認しているか。

**(施設所管課)**

この人件費で一番大きいのは施設長の給与である。法人本部の業務と兼務しているが、施設長は施設に常駐する必要がないので、本部の業務の割合がちょっと多い状況。そのため、切り分けた結果、市の積算額より少ない算定となったものである。

**(委員)**

では施設長の給与見込みが市の積算よりも抑えることができ、他の職員の給与水準は変わらないという理解でよいか。

**(施設所管課)**

はい。

**(委員)**

施設の老朽化を踏まえて第二中学校の建て替えに合わせて集約複合化するという話があるが、そのスケジュールは。

**(施設所管課)**

二中が令和10年度中に完成し、複合施設もその中にできる予定になっているが、何年度に城西老人福祉センターを閉鎖するところまでは確定していない。今回は令和6～10年度までの5年間で更新するので、場合によっては途中で終わる形に変更される可能性はあるが、現時点では令和10年度までは現施設で弘前草右会に管理していただく計画をしている。

**(委員)**

二中の複合施設が完成した場合、一時的にでも現在の施設と新施設で機能が分散される可能性があるか。また、面積は現在の建物と比べてどの程度の予定か。

**(施設所管課)**

運営については、現施設と新施設を同時に運営することは想定していない。複合施設は、城西老人福祉センター以外の施設

利用者も使うことを想定して、使える部屋が4部屋あり、パーテーションを取り払うことで大きな部屋としても使えるような想定をしている。そのほかにも、学校の音楽室や調理室、家庭科室などをサークル活動等できいっしょに使えるような形で整備する方向であると聞いている。

(委員)

老人福祉センターの専用スペースはあるのか。

(施設所管課)

専用スペースはない。そのため老人福祉センターという名称はなくなる予定である。

(事務局)

補足すると、複合施設の面積としては400㎡程度を予定しており、老人福祉センターの名称や機能がそのまま移転する形ではなく、どなたでも利用できる交流施設のような形態をとりつつ、家庭科室などを学校と共用していくもの。

(議長)

ほかに質問等よろしいか。それでは城西老人福祉センターの指定管理者候補者について選定案のとおり社会福祉法人弘前草右会に決定することにご異議ないか。

<委員了承>

(議長)

では、選定案のとおり決定する。

## ■老人福祉センター祥風園

(議長)

続いて、老人福祉センター祥風園の選定案について説明をお願いします。

<施設所管部 説明>

(議長)

以上の説明について、質問や意見はないか。

(委員)

城西老人福祉センターと同団体だが、課題についてはどうか。

(施設所管課)

こちら雨漏りについては修繕済みであるが、その他は建築基準法に基づく点検においても早急に修繕が必要だと判断され

ていないので、現時点では対応に係る予算措置は考えていなかった。

また、こちらの施設ではサークル活動がほぼ行われておらず、沸かし湯の入浴施設に来る方が大半であるため、城西老人福祉センターのようなサークル活動の利用者減という課題はない。自主的なサークル活動ではなく、指定管理者が企画した自主事業に参加して楽しんでもらうという形になっているので、自主事業等を工夫していきたいということであった。

メンタルヘルス研修など人材確保の点については、祥風園においてもこの5年は職員の交代がなかったもので、課題としては確認していない。

**(委員)**

利用状況の資料に関して、団体と個人で区分されており城西と祥風園ではかなり差があるが、ここでいう団体とは。

**(施設所管課)**

主に囲碁や日本舞踊などのサークル団体である。祥風園にはサークルがほぼなく、たまに町会等の利用がある程度であるため、両施設の団体利用件数に差が生じているもの。

**(委員)**

市としては、サークル活動が行われても行われていなくても、施設の趣旨としてどちらでも構わないという考え方か。

**(施設所管課)**

サークル活動をやっていただければ一番良いと思う。ただ、祥風園では自分たちでサークルを作ることが長年なかったので、代わりに指定管理者が頑張って自主事業として工作教室や絵画教室などを実施してきた。なお、城西老人福祉センターの募集要項では体操教室などの指定事業を明記し求めているが、祥風園については見込めないことから募集要項には記載していない。

**(委員)**

望ましいあり方があるのであれば、その方向で動いていけるように市としても指導していただければと思う。

**(委員)**

この施設も人件費が市の積算より少ないが、その理由を教えてください。

**(施設所管課)**

祥風園についても法人本部との兼務がある形であり、法人の持ち出し分の給料と指定管理料から支払われる給与で分けている関係で、市の積算に比べて少なくなっている。

また、城西老人福祉センターとは異なり、施設長に限らず他の職員も兼務が生じている。

(議長)

その他、質問等はないか。それでは、老人福祉センター祥風園の指定管理者候補者について選定案のとおり社会福祉法人弘前草右会に決定することにご異議ないか。

<委員了承>

(議長)

では、選定案のとおり決定する。

### ■老人福祉センター瑞風園

(議長)

続いて、老人福祉センター瑞風園の選定案について説明をお願いする。

<施設所管部 説明>

(議長)

以上の説明について、質問や意見はないか。

(委員)

この施設も温泉施設だが、祥風園と同じようにサークル活動等は少ないのか。

(施設所管課)

瑞風園は祥風園以上に温泉の利用が多く、毎日平均 100 人以上が訪れるなど入浴中心の施設だが、他の活動も活発に行われている。

例えば週に 1 回、専門の資格を有する職員が指定管理者の法人からきて大広間で体操教室を指定事業として実施しているほか、毎週土曜に映画の上映会をしたり、年 1 回の小旅行があったり、あとは卓球やカラオケも行われている。

(委員)

サークル活動などに関する情報を日常的に共有しているか。

(施設所管課)

市と指定管理者との間では毎月のように情報交換の場を設けている。我々も施設によく足を運んでいるので施設の職員と直接話す機会も多い。また、年に 1 回実施している利用者アンケートで要望などを集め、指定管理者が工夫していろいろ企画している。

ただ、自分たちでサークルを立ち上げようという動きはなく、

市としてもぜひサークルを作ってくださいとは呼びかけていない状況。

**(委員)**

城西老人福祉センターのような機能は別のところで担っているのか。もしくは地域的な問題なのか、経営的な問題なのか。

**(施設所管課)**

高齢者自体が変化しており、老人クラブなどの活動も下火になっている現状がある。いわゆる高齢者と呼ばれている世代の中においても、構造的な部分で何かしらの線が引かれている状況があると感じているところ。

このような中で 65 歳になった方々が老人福祉センターの中で様々な活動をするかといえば、実はそういった方々はまだまだ元気で仕事をもっていて、趣味や活動の内容も異なるなど、そもそも構造的な違いがあると考えている。

そのため、老人福祉センターの現状が施設本来の目的と若干乖離しているという点は感じるものの、現在利用されている方々がまずは気持ち良く使えるというところに重点を置きつつ、施設を維持しながら社会構造が変化する中で施設の役割を考えていく必要がある、というのが市の問題意識である。

**(委員)**

質問の趣旨としては、できるだけ施設を有効に活用していくために、施設の目的に照らしてどういったあり方が良いのかを検討いただきたいということ。まずは有効に活用することを考えてほしい。

そのうえで、指定管理者の選定とは異なる話だが、この施設が本当に必要なのかという別の視点もあるかと思う。まずは指定管理者とともに施設をできるだけ有効に活用して、市民の福利厚生に役立てほしい。

**(委員)**

この施設は、特に課題に関する資料等がないが、設備の修繕などの課題はあるかと思う。修繕の度合いやうまく行われているかなどをお聞きしたい。

**(施設所管課)**

この施設は、温泉があるので湿度も高く、他の同じ年数の施設に比べて老朽化の度合いは大きい。一昨年も約 2 千万円をかけて屋根と外壁の改修を行っているが、やはり床や温泉設備などの細かい部分が傷んでいるところもあり、指定管理者や利用者からも要望を受けているので、予算措置に努めている。

それから、課題としては、洗い場が男女 6 つずつであるなど決して大きな施設ではないが、新型コロナウイルス感染症が収まってきたこともあるが、特に最近、近隣の民間温泉施設が閉

鎖した影響もあり、施設のキャパシティに対して利用者が多くなっているため、接客対応が課題になっていると申請者から聞いている。

**(委員)**

温泉主体でサークル活動などもそこまで要求されていないということであれば、施設が綺麗かどうか、あるいは対応が親切で魅力があるかどうか利用者の増加に直結すると思ったが、今の説明では利用者が多くて逆に困っているという状況ということなので、その辺のバランスも考えて施設の整備を考えていただければと思う。

**(委員)**

候補者は介護サービスの事業者であるということなので、瑞風園には機能回復訓練室もあるようだが、介護予防的な事業は行われているのか。

**(施設所管課)**

先ほども説明したとおり、専門資格をもった法人内の職員が講師となって健康体操を毎週行っており、パタカラ体操など介護予防に効果がある色々な体操を取り入れている。

また、申請者である弘前豊徳会は介護関係の様々な施設を有しているほか、地域包括支援センターの運営も受託しているので、体が動かなくなってきたとか、介護を受けたい、などといった瑞風園を利用する高齢者の色々な相談にも応じているとのことである。

**(委員)**

評価の視点からの申請概要における個人情報の適切な取り扱いの確保の部分について、「医療介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのためのガイドラインを含む関係法令を遵守し」との記載があるが、瑞風園の施設管理だけであれば介護関係事業の個人情報に当たるものを取り扱うことは無いような気がする。いまの説明を踏まえると、個人の色々な相談に応じる中で個人情報を取得する場合もあるということで、このガイドラインを遵守する、ということになるのか。

**(施設所管課)**

それもあるかと思うが、おそらく医療介護事業所である弘前豊徳会の法人全体として、全ての職員に対し、これらのガイドラインを遵守するように研修等で徹底しているという意味合いで捉えていた。

**(委員)**

細かい話だが念のため確認したい。DVD の上映会をしている

ことは大変良いことだと思うが、レンタル DVD をみんなで見ていることについては著作権など大丈夫なのか。

(施設所管課)

今一度、関係の法令等も含めて確認させていただきたい。

(委員)

これは委員としての意見だが、お金を払う必要があるのであれば市で対応して実施したらどうかと思う。毎月やっていて、それを楽しみにしている人もいるだろうから、ぜひ続けられたら良いという趣旨である。

(議長)

その他、質問等はないか。それでは、老人福祉センター瑞風園の指定管理者候補者について、選定案のとおり社会福祉法人弘前豊徳会に決定することにご異議ないか。

<委員了承>

(議長)

では、選定案のとおり決定する。

<担当部入れ替え>

## ■瑞楽園

(議長)

それでは、瑞楽園の選定案について説明をお願いします。

<施設所管部 説明>

(議長)

以上の説明について、質問や意見はないか。

(委員)

申請者は庭園の維持管理をととても丁寧できれいにやっただいているので、その点において問題ないのではないかと感じている。

そのうえで、自主事業についても、造園業者としてそこまで企画するものではないと考えられるものも含んだ提案になっており、非常に良いと感じている。

(委員)

選定方法の審議の際、管理できる団体が他にもあるのかとい

う議論になり、何社かあるのではないかという話であったが、結果的に今回は有限会社三浦造園だけが手を挙げた。他の団体からの問い合わせなども特になかったということか。

**(施設所管課)**

特になかった。

**(委員)**

他の団体から応募がなかったことについて、どのように分析されているのか。そもそも他の団体が人材をそろえていないなどといった理由なのか。

**(施設所管課)**

既の実績のある業者が入っているところに新たに参入することに関して、人材確保の課題や、造園業と違う業務をやるということへの心理的なハードルがあるのかと捉えている。

三浦造園も、いつまでもやれるかという部分も含めて後継者育成もしていくという話をしてしたが、他の業者が参入するには、こういった対応をしないと難しいので、現時点では新規参入は難しいのではないかと分析している。

**(委員)**

三浦造園の職員の年齢構成はどのようになっているか。

**(施設所管課)**

手元に資料がないが、小委員会のヒアリングの際に後継者の質問をしたところ、事業者としても共通の懸念をもっており、新しい人を雇用して次の5年の指定期間のうちに独り立ちできるような体制で考えているとの回答があったので、後継者は育っていくものと捉えている。

**(施設所管課)**

三浦造園の作業員は40代などの比較的若い方が結構おられて、技術を継承していく体制が整っていると感じている。

**(委員)**

予算のところを確認したい。選定方法の審議の際、実績をベースに施設管理費を抑えたという説明があったと記憶しているが、今回の提案は市の積算よりもさらに低い金額になっている。この金額でやっていけるのか。

**(施設所管課)**

必ずしもすべて外注するわけではなく、自社の作業員をつかって管理をしているという点と、建物管理においても清掃などを自社の管理人が行うなどして、うまく削減できるようにしているということで施設管理料が少なくなっている。

**(委員)**

人件費もかなり低く積算されているように見受けられる。市と申請者の積算額の違いはどのような理由であるのか。

**(施設所管課)**

管理人の他に事務員用の人件費を市では見込んでいるが、申請者はその分を人件費ではなく事務費に計上している。

**(議長)**

その他、質問等はないか。それでは瑞楽園の指定管理者候補者について、選定案のとおり有限会社三浦造園に決定することにご異議ないか。

<委員了承>

**(議長)**

では、選定案のとおり決定する。

**■弘前市公開武家住宅等**

**(議長)**

それでは、弘前市公開武家住宅等の選定案について説明をお願いします。

<施設所管部 説明>

**(議長)**

以上の説明について、質問や意見はないか。

**(委員)**

申請書類において、利用状況等を勘案した課題として、「国内外のお客様から、施設の有料化を検討すべきというご意見を頂戴しています。」という記載があるが、これは市として対応すべきことなのか、指定管理者が対応することなのか、また、見通しはどうかお聞きしたい。

**(施設所管課)**

他市ではこの規模の公開武家住宅や類似施設であれば有料であるのに、弘前は無料でありがたいという意味での意見がアンケートで多く寄せられていることは承知しており、その点を踏まえての意見であると捉えている。

市では現在、国の補助金を得て文化財を活用した観光事業を展開する計画があるので、その事業展開を踏まえながら有料か無料のままとするかを含めて検討していくこととしている。

**(施設所管課)**

補足だが、現在の条例上は無料という扱いになっているので、仮に有料化する場合は条例改正等の対応が必要となる。今後

については観光面分野での事業展開を踏まえて検討していく必要があると認識している。

**(委員)**

あえて有料にすることによって価値があるように見せる手法もあると思う。このくらいの規模であれば県外では通常有料化しているということなら、そのような対応があってもよいのではないかと感じた。

続いて予算についてお聞きしたい。市と申請者の積算の違いについて、委託料の害虫駆除が市では40万円をみているが申請は0円になっている。逆に市の指定事業費は0円だが、申請者は指定事業費としてパンフレットの作成費を40万円計上している。この考え方の違いについて教えていただきたい。

**(施設所管課)**

害虫駆除に関しては、委託せずに薬剤を直接購入して実施するほうが安上がりなので自前で行う提案であり、消耗品費に経費が計上されている。

指定事業費については、市の積算上は指定事業費ではなく、事務費の中でパンフレットの印刷製本費を見ていた。

**(議長)**

その他、質問等はないか。それでは弘前市公開武家住宅等の指定管理者候補者について、選定案のとおり弘前市仲町地区伝統的建造物群保存会に決定することにご異議ないか。

<委員了承>

**(議長)**

では、選定案のとおり決定する。

<担当部入れ替え>

■弘前市まちなか情報センター

**(議長)**

それでは、弘前市まちなか情報センターの選定案について説明をお願いします。

<施設所管部 説明>

**(議長)**

以上の説明について、質問や意見はないか。

**(委員)**

申請書が見やすくてわかりやすく書かれていた印象がある。  
利用状況からみた課題というところで、中心市街地全体にこのセンターの賑わいが波及していくようにすることが課題だと示しており、意欲的な非常に良い課題を挙げていると感じた。この点について、市としては今後どのように申請者とともに応えていく考えかお尋ねしたい。

**(施設所管課)**

ヒアリングの際にも話があったが、市民団体や様々な団体と連携しながら、施設内での展示や事業はもちろん、アート情報提供事業なども今回行うということで、市内各施設との連携など、ネットワークを有効活用して広げていく動きをしていくということであった。そのような形で施設単体ではなく、関係するところと連携して中心市街地の賑わいにつなげていきたいということであり、市としてもまさにそういった部分を連携しながらやっていきたい。

**(委員)**

これは市の指定事業として実施するという理解でよいか。また、アート情報提供事業ということだが、まちなか情報センターが実施するのはイベント情報を提供することなのか。

**(施設所管課)**

これは単純にイベント情報を集めて発信するだけではなく、市内の博物館等を含むアート関係の施設を連携して繋げる役割を果たしていきたいとのことである。

その役割を果たすためには、まちなか情報センターの職員自身がどこでどのようなイベントや展示が行われているかわかっていなければならないので、各施設の展示物やテーマなどに関する研修もしていくとのことである。

**(委員)**

これは市の指定事業であるが、事業者から上がってきた提案という捉え方でよいか。

**(施設所管課)**

具体的な活動内容については事業者からの提案である。

**(委員)**

今の説明であれば、年間を通じてやるべきことなのではないかと感じる。年2回実施、あるいはイベントの開催時に、と書かれているが、それに限らず常時そういう情報提供が行われるべきではないか。

逆に年に2回だけということであれば、かなり手の込んだ大がかりなことをやられるのかと思うが、どういうことを考えているのかお聞きしたい。

**(施設所管課)**

れんが倉庫美術館の展覧会が年2回という意味で、この情報発信自体が年2回というわけではなく、そういったタイミングに合わせて内容を常に新しくしながら情報発信していくことになっている。

**(委員)**

常設以外の展示について、ここで発信していくということか。

**(施設所管課)**

そういった連携をしながら各施設への誘導もしていくということで、例えばここでこういう楽しいことやすごく良いことをやっていますよ、イベントもやっていますよということ伝えることで、単なる情報の発信ではなく、アート関連で市内を周遊する方々を支えていくという話である。

**(委員)**

方向性としては大変すばらしいと思うが、まちなか情報センターと美術館との連携という点では、それぞれの施設のカラーがだいぶ違うのでイメージしにくい。その点で、どのように事業がおこなわれるのか楽しみにしている。

**(委員)**

自主事業の収支実績の資料を見ると、かなりの事業収入になっている。事業原価等もかなりの金額ではあるが、どのようなことを自主事業として行っているのか。

**(施設所管課)**

喫茶・売店事業の売り上げや、サイクルネット事業等の収入となっている。

**(施設所管課)**

一番大きな収入となっているのは桜ミクなどの物販である。これを目当てに若い人が全国から来ており、施設の集客につながっていると考えている。

**(委員)**

ということであれば、物販の売り上げも含めて、まちなか情報センターを有効に活用していると理解してよいか。

**(施設所管課)**

はい。

**(委員)**

選定方法に係る審議の際、コンシェルジュなどの職員の資質向上と成果指標を見直すという話であったが、その後、どのように反映されたのかお聞きしたい。

**(施設所管課)**

研修については、これまでも職員の知識向上を図る目的で行っているが、美術館などでの現地研修を実施しているほかJ A

Lの接客研修も受講しているということであり、これまで以上にお客様対応の向上に努めていくことで、申請書には具体的に記載されていなかったもののヒアリングの際に確認している。

それから、成果指標の数値については、コロナ前の自主事業で来館者数が多かった実績があり、同じような形で事業を行うことにより来館者が増えることがわかっているため、目標に合わせた形で頑張っていきたいということであった。

**(議長)**

その他、質問等はないか。それでは弘前市まちなか情報センターの指定管理者候補者について、選定案のとおり公益社団法人弘前観光コンベンション協会に決定することにご異議ないか。

<委員了承>

**(議長)**

では、選定案のとおり決定する。

<担当部入れ替え>

## ■弘前市立百石町展示館

**(議長)**

それでは、弘前市立百石町展示館の選定案について観光部から説明をお願いします。

<施設所管部 説明>

**(議長)**

以上の説明について、質問や意見はないか。

**(委員)**

展示館としてリニューアルされてから約20年かと思うが、綺麗に手入れされているので、日常的に多くの方に使っていただいているということがよくわかる。そのためか、非常に予約が多く、むしろ予約をどうさばくかという点が課題であると申請書に記載されており、そういう意味では非常によく運営していただいていると思う。

そして、市の文化振興に係る計画と合致して管理運営をしている点が高評価であったと思う。これに関連して、申請団体は、もともと吉井酒造煉瓦倉庫を使った企画で立ち上がった経緯が

あるが、現在の弘前れんが倉庫美術館との連携についてどのように考えているのか。まちなかの賑わいは商工的な視点になるかもしれないが、文化振興としてのまちなかの賑わいをどう捉えているか。

**(施設所管課)**

れんが倉庫美術館との連携方法については、まず貸館状況のやりとりを行い、キャンセル待ちをしている団体に対して美術館の貸出スペースを案内するとか、逆に美術館を利用できない方に対して百石町展示館の空き状況を案内するなど、お互い稼働率の増加につながるような連携を考えている。

**(委員)**

その実績はどうか。やりとりの結果、もう一方では借りることができたという事例は結構あるものなのか。

**(施設所管課)**

これまでも実施してきたものではあるが、実績は聞き取りしていなかった。ただ、申請者である特定非営利活動法人 harappa の理事長が美術館の館長であり、また同じく理事が美術館の運営担当を務めているということで、情報の交換などは密に行われているものと思う。

**(委員)**

今の説明は施設の貸館業務における連携だが、それ以外に文化振興に関わるような連携等は考えているのか。

**(施設所管課)**

百石町展示館はギャラリーネットワークひろさきに加盟しており、そのネットワークを介して市内の他のギャラリーとイベント情報などをお互いに共有し、マップなどを作成して街歩きを促進していくような活動の提案を受けている。

**(委員)**

文化芸術の振興という第一義的な目的はしっかりやっていただけのだろうとは思いますが、もう一つの目的として中心市街地との連携やにぎわいの創出などもあったかと思う。一例として百石町の納涼夜店まつりでワークショップなどをやっているということであったが、お祭りの時だけではなく日常的な連携があれば良いと思う。今までそういったものがあるかどうか、今後考えていけるのかどうかといったところをお聞きしたい。

**(施設所管課)**

れんが倉庫美術館は弘前駅と弘前公園とのちょうど真ん中に位置し、美術館自体がまちなかのにぎわい創出という役割を持った施設であるので、同じく中心市街地にある施設として百石町展示館も連携していければと思う。具体的な方策についてはこれから考えていきたい。

**(委員)**

日常的なにぎわい創出として、例えば土手町の飲食店などとの連携も考えられると思うが、その点はどうか。

**(施設所管課)**

土手町商店街との連携について具体的な方策は提案されていないが、申請書に記載されているとおり百石町納涼夜店まつりだとか、あとは展示館自体の稼働率が高いことを受けて、ギャラリーワゴンをつかって施設の前面でワークショップ等々を行うことになっているので、土手町近隣までその影響が及ぶかどうか定かではないが、中心商店街や百石町との連携を深めながら事業を行っていく提案を受けている。

**(委員)**

百石町納涼夜店まつりの時だけではなく、違う時期にも何か連携をとれるような方策を考えていただきたい。

**(議長)**

その他、質問等はないか。それでは弘前市立百石町展示館の指定管理者候補者について、選定案のとおり特定非営利活動法人 harappa に決定することにご異議ないか。

<委員了承>

**(議長)**

では、選定案のとおり決定する。

<担当部入れ替え>

**2. 泉野多目的コミュニティ施設ほか計2施設の指定管理者候補者の選定方法、指定期間及び選定基準等について**

**■泉野多目的コミュニティ施設**

**(議長)**

それでは、泉野多目的コミュニティ施設の選定方法等について市民生活部から説明をお願いします。

<施設所管部 説明>

**(議長)**

以上の説明について、質問や意見はないか。

**(委員)**

指標に掲げている利用件数の定義を確認したい。何の件数を計っているのか。

**(施設所管課)**

件数については、団体などの申し込み単位での件数である。

**(委員)**

新型コロナウイルスの影響をほとんど受けずに年々増えているということであるが、これはどのような要因によるものか。

**(施設所管課)**

確かに新型コロナウイルスの影響により活動が停滞してきた実態はあるが、利用者側の工夫によって、活動自体をやめるのではなく少人数で利用していくという傾向が多かったものと分析している。

**(委員)**

どのような内容で利用されているのか。

**(施設所管課)**

他の交流センターと同様に、サークル活動などが大変多くなっているが、この施設は営利目的でも利用できる点が他の交流センターと違うところであり、例えば企業の展示会などでも活用されている。

**(委員)**

営利目的でも使用できるのは、この施設にほぼ限られるのか。

**(施設所管課)**

当課が所管しているコミュニティ施設の中ではここだけである。あとは嶽、常盤野、昴の各集会所であれば営利目的で使用できる。なお、これらの集会所の利用料金についてはすべて指定管理者の収入となる。

**(委員)**

このあたりがうまくいっているのであれば、他の施設にも広げてよいのではないかと思うが、どのように考えているか。

**(施設所管課)**

他のコミュニティ施設については、まず使用料自体が市の歳入になるということや使用料の減免等を行うことができる施設であること、また現在、条例において営利目的には貸出ししないと定められているため、営利の事業目的には使用できない。

**(委員)**

立地条件が大きいかと思うが、有効に活用されている施設であり、成果指標も概ね標準的なものを三つ定めているので良いかと思う。この良い成果を他の施設の有効な活用につなげていければと感じた。

**(委員)**

成果指標でアンケートの満足度 90%を掲げているが、今もアンケートはとっているのか。現在の実績値は。

**(施設所管課)**

これまでアンケートを実施しており、結果について指定管理者から報告を受けているが、現時点で何%かというところまでは把握していなかった。ただ、概ね良好だとは聞いており、実績としても上がってきているとのこと。

**(委員)**

数値化はこれからやっていくということで理解した。

次に予算の実績をみると人件費がだんだん高くなっていて令和 4 年度が 400 万円でもっと高いが、一方で 11 ページの予算内訳では令和 5 年度が 375 万円になっている。令和 4 年度だけが突出しているだけなのかもしれないが、この理由を教えてください。

**(施設所管課)**

まず令和 4 年度の 400 万円に対して令和 2 年度と 3 年度が下がっているのは、新型コロナウイルスの感染拡大により施設の閉館が多かったためである。この施設では職員を時給で雇用しているため、勤務が無かった分の人件費が下がったもの。

令和 5 年度と来年度以降については、最低賃金を勘案して計算したものである。

**(委員)**

令和 4 年度の数値が結構大きいのは何故かという点を説明していただきたい。

**(施設所管課)**

職員の福利厚生費がこれまでに比べて増えたということである。

**(委員)**

何か特殊な事情があったということか。令和 4 年度だけの一時的なもので、今後は特に予定がないので令和 5 年度以降は減っていると理解してよいか。

実際の給料には影響がないのかどうか、例えば人件費の単価が減ることにはないにしろ人数が減って金額が減ったということがないか、このような点を確認したい。

**(施設所管課)**

職員の人数は変わらず単価も減らない。今までと同様である。

**(議長)**

その他、質問等はないか。それでは泉野多目的コミュニティ施設の選定方法等について、このとおり決定することにご異議はないか。

<委員了承>

(議長)

では、このとおり決定する。

<担当部入れ替え>

■駅前地区都市改造記念会館

(議長)

それでは、駅前地区都市改造記念会館の選定方法等について都市整備部から説明をお願いする。

<施設所管部 説明>

(議長)

以上の説明について、質問や意見はないか。

(委員)

完全利用料金制であるので収入についてお聞きしたい。利用料金のほかに「その他」が割合的に多いようだが、具体的にはどのような収入か。

(施設所管課)

前年度の繰越金や預金利子、それから現年度での基金からの繰り入れとなっている。

参考までに、支出にも「その他」があり、基金への積立金として処理している。

(委員)

ということは、この団体はきちんとした基金を持っているということか。

(施設所管課)

この団体は、現在、駅前地区都市改造記念会館と駅前南地区都市改造記念会館（みなみ会館）の2か所を指定管理しており、みなみ会館は今年度をもって閉鎖となるため、次期は駅前会館だけになる。

みなみ会館は収支がマイナスで駅前会館は収支がプラスであるため、この団体が管理している2施設の間での資金的なやりくりを、この基金を介して行っている。

(委員)

そうすると、この都市改造記念会館管理運営委員会が持ち出して、基金を取り崩しながら運営しているという理解でよいか。

**(施設所管課)**

はい。その基金の原資はこれまでの指定管理での余剰金を積み立ててきたもので、蓄えからやりくりしている状況である。

**(委員)**

以前は指定管理料を支払っていたのか。

**(施設所管課)**

過去にも指定管理料は支払っておらず、利用料金制による余剰金を積み立ててきたもの。

**(委員)**

成果指標が利用件数1項目のみで、目標値は5か年の平均とのことだが、低めの目標ではないか。

**(施設所管課)**

5か年で平均をとると新型コロナウイルスの影響で利用率が低かった年も含まれるので、目標値の置き方は考える余地があるものと認識している。令和4年度もこの目標を達成しており、おそらく今年度も達成すると思われるが、一方で新型コロナウイルスの影響がどこまで及ぶのかという懸念もあり、5か年の平均値を目標としたもの。

**(委員)**

もう少し目標値が高くてもよいのではないか。目標設定に関しては施設によってバラバラな印象があるが、施設の特性に応じて設定の考え方が異なるのは別として、そうではなくコロナ禍の影響を含めているところと除外しているところが混在しているのは、対応としては整合がとれていないと思う。

**(施設所管課)**

平均値をとるに当たって、バラツキがあるときは最も大きい数値と最も小さい数値を除いて中庸でもって平均をとるというやり方はあるが、その点について庁内で統一した考えはないと認識している。管財課とも相談しながら見直したい。

**(委員)**

資料21ページには、「自主事業は実施していません」と書かれているが、これに対して市の評価項目には自主事業に係る配点がある。市としては、できれば自主事業をやってほしいという意味で評価項目としているのか。

**(施設所管課)**

市としては、現在でも施設利用率は高いほうだと思っているが、やはり完全利用料金制の施設であるので、もう少し市民サービスの拡大につながるような自主事業などを、可能であるならやっていただきたいとは考えている。

**(委員)**

では、自主事業を提案していただいたら5点以内で採点して、提案がなければこの評価項目は0点で処理するのか。

**(施設所管課)**

はい。

**(委員)**

完全利用料金制で独立して運営され、非常に頑張っている気はするので、個人的には自主事業を実施しないという形もあるかなとは感じる。

**(委員)**

公募の施設ではないので、しっかりとした成果指標を掲げてほしい。コロナ禍前の利用件数の実績が、平成30年度350件、令和元年度415件であるので、目標値の277件はかなり低いという印象がある。先ほど見直すという話であったが、この点についてはぜひ検討していただきたい。

また、その他の支出などの点については、こちらの施設で利益が出たものをもう一つの施設に補てんしているということで理解した。ただ、全体像が見えてくると、その取り扱いが果たして適当なのかとを感じる部分はある。

それから、特に要請する事項がないということだが、なくてもよいのか。市としてどうあってほしいと考えているのか。

**(施設所管課)**

この施設は、土地区画整理事業の中で地域の公民館的な役割をもって設置された経緯があることから、施設自体は市の所有ではあるものの、町会の皆さんが主体となり管理されてきた。

個人的な見解が混じるかもしれないが、町会の方々の高齢化も進んでいることを踏まえると、市として多くのことを望むよりは、現状の形で運営していければよいのではないかと思う。

**(議長)**

その他、質問等はないか。それでは駅前地区都市改造記念会館の選定方法等について、このとおりに決定することにご異議ないか。

<委員了承>

**(議長)**

では、このとおりに決定する。

<担当部退席>

**(議長)**

審議案件は以上となるが、ほかに何かあれば伺いたい。

	<p>&lt;特になし&gt;</p> <p><b>(議長)</b> では、今後の予定について事務局から説明をお願いします。</p> <p>&lt;事務局から今後の予定について説明&gt;</p> <p><b>(議長)</b> ただいまの事務局説明について質問等はあるか。</p> <p>&lt;特になし&gt;</p> <p><b>(議長)</b> 質問がないので、これで案件審議を終了する。</p>
<p>その他必要事項</p>	<p>会議は非公開である。</p>